

多摩川が タマゾン川に なる前に

薦田拓也
福井貴之
渡邊由比

発表の流れ

1. 新聞記事の紹介・要約
2. 多摩川について
3. お魚ポストについて
4. 問題意識
5. 政策提言

多摩川「おさかなポスト」、川崎のNPO、カメ引き取りやめます、持ち込み増え苦慮。

多摩川の生態系を守ろうと、外来種の魚などを引き取っている川崎市多摩区の「おさかなポスト」を管理するNPOが、持ち込まれるカメが増え過ぎたとして引き取りを中止した。現在約250匹を預かっており、対応に苦慮している。

大半は「ミドリガメ」と呼ばれる外来種のミシシippアカミミガメ。ペット店などで販売されているが、川などに捨てられ生態系を破壊するとして、駆除の必要性が指摘されている。

2005年のポスト設置直後から「育てられない」との相談が相次いだため、引き取って学校などに飼育を依頼していたが、持ち込まれるペースに追いつかず4月中旬、引き取りを中止した。

NPO「おさかなポストの会」代表で川崎河川漁協総代の山崎充哲さん(54)は「川には絶対に放流せず、飼い主は責任を持って面倒をみて」と呼び掛けている。

記事の要約

- 多摩川の生態系を守ろうと、外来種の魚などを引き取っている川崎市多摩区の「おさかなポスト」を管理する、NPO法人「おさかなポストの会」。
- 持ち込まれるカメが増え過ぎたとして引き取りを中止した。現在約250匹を預かっており、対応に苦慮している。
- 持ち込まれるペースに追いつかず4月中旬、引き取りを中止した。

多摩川について

- 山梨県・東京都・神奈川県を流れる多摩川水系の本流で一級河川。県境全長138km、流域面積1,240km²。
- 堤防はあるものの、首都圏の一級河川でありながら護岸化されていない部分が多く、川辺の野草や野鳥が数多く見られる自然豊かな河川。



多摩川(小田急鉄橋付近)

多摩川に増加する外来種達

- 観賞用やペットとして飼われていた外国産の生き物が、日本の河川に放され、生態系を脅かしている。
- とりわけ多摩川は、人口密集地の東京・神奈川を流れる都市河川であることから、違法投棄・違法放流も多く、多数の外来魚が棲み付いているといわれている。

外来種が増えた原因

- 多摩川に外来種が増えた原因は二つ考えられる。
 - ① ブラックバスやブルーギルに見られるように、釣り人たちが、自分たちの趣味のために違法に外来魚を放流したもの。
 - ② 観賞用やペットとして飼っていた熱帯魚や亀などを違法投棄したもの。

200種を超える外来種

- 多摩川に棲む外来種は200種あまり。中にはレッドテールキャットフィッシュやガーパイクなどの大食感な魚も多く、多摩川の生態系が破壊されると懸念されている。
- 多摩川は、生活廃水の流入や下水処理水の流入などで水温がほかの河川よりも高い傾向にあり、熱帯魚などが棲息しやすい環境になっている。一部の種は繁殖もしている。

- 外来種ではなく日本産在来魚であっても、多摩川にもともと棲んでいなかった淡水魚も多くの種類が見つかった。



これらの国内間移入種も、多摩川の生態系を攪乱する要因である。

●多摩川で見つかった主な外来生物

魚 類	エンゼルフィッシュ、グッピー、レッドテールキャットフィッシュ、セルフィンプレコ、ノーザンパラムンディ、エンドリケリー、オスカー、ピラニア、スポッテッドガーパイク、レッドオスカー、チャネルキャットフィッシュ（アメリカナマズ）、アイススポットシクリッド、タイガーオスカー、アリゲーターガーパイク、テラピア、シルバーアロワナ、タイガーショベルノーズキャットフィッシュ、ネオンテトラ、プラティ、コリドラス、プレコ、アロワナ、オオクチバス、コクチバス、ブルーギル、ほか 【国内間移入種】 オヤニラミ、ムギツク、アカザ、イトウ、ほか
爬虫類	スッポンモドキ、ミシシippアカミミガメ、フロリダアカハラガメ、ほか

タマゾン川

- 「まるでアマゾン川のような」ということで、今では多摩川のことを「タマゾン川(多摩ゾン川)」と呼んで揶揄されるようになる。

AMAZON

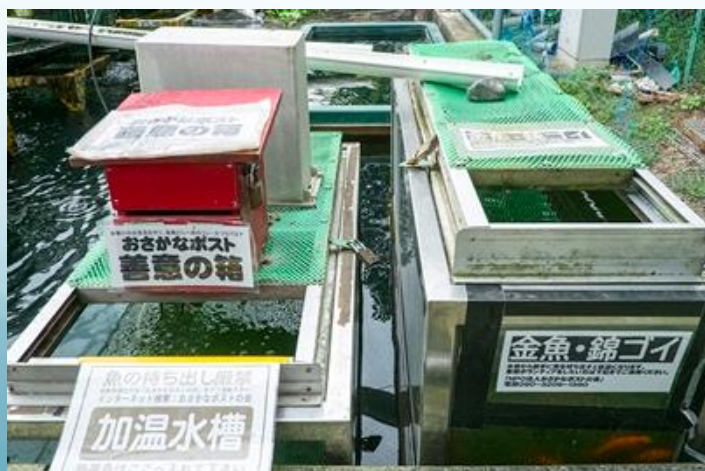


TAMAZON



おさかなポストとは？

- 飼育が困難になった外来魚などを一時的に保護する施設。
- 神奈川県川崎市を流れる多摩川沿いの稲田公園内に設置されている。
- 多摩川への外来魚などの放流を防ぎ、水辺の生態系を守ろうと、川崎河川漁業協同組合総代で環境コンサルタントの山崎充哲氏が2005年に創設した。



おさかなポストとは？

- 山崎氏が代表を務めるNPO法人おさかなポストの会と川崎河川漁業協同組合が管理・運営している。
- ポストに預けられる年間約1万匹の魚やカメは、個人の里親を募集するほか、企業や水族館、学校に里親として協力を仰いでいる。

里親制度

「おさかなポストの会」正会員

・個人会員 入会金 10,000円 年会費 6,000円
(1ヶ月 500円年払い)

・法人会員 入会金100,000円 年会費60,000円
(1ヶ月5,000円年払い)



増えすぎたカメ

- これまで「おさかなポスト」では、無償で生き物の引き取りを行ってきた。

しかし！！

カメについては年間200匹ほど寄せられており、持ち込まれる数が増えすぎたことなどから13年4月より受け入れを中止している。



遺棄されるカメ

- カメ類の受け入れを中止して以降、遺棄されるカメの姿が多摩川で目立つようになっている。その数が多いときで80匹に上る。
- 飼い主によって遺棄されたとみられる外来種のカメの捕獲作業が、地元のNPO法人「おさかなポストの会」を中心としたボランティアによって行われている。

なぜカメを飼うのか？

犬などに比べ

- 他の犬などペットに比べ格段に安い(1000円～)
- 一人暮らしのアパートなどでも飼える
- 小さい(2cm～)

熱帯魚などに比べ

- 「かわいい」(なつく、餌をねだるetc…)
- 「世話」へのあこがれ

値段が手ごろで、飼い甲斐がある



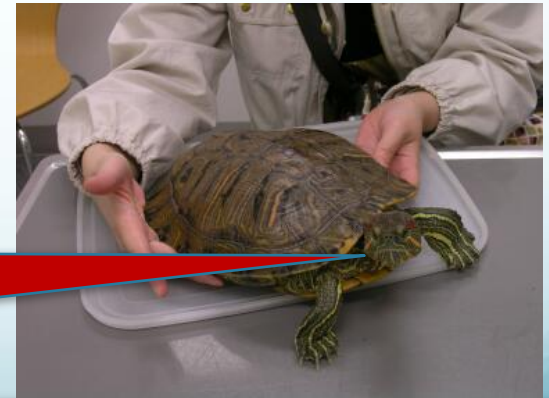
ミシシッピニオイガメ

カメの成長

- Ex)ミドリガメの場合
- 脱皮式
- 手のひらサイズ→20cm以上に



こんなに大きくなる



<http://exoticpetdata.blog33.fc2.com/page-2.html>

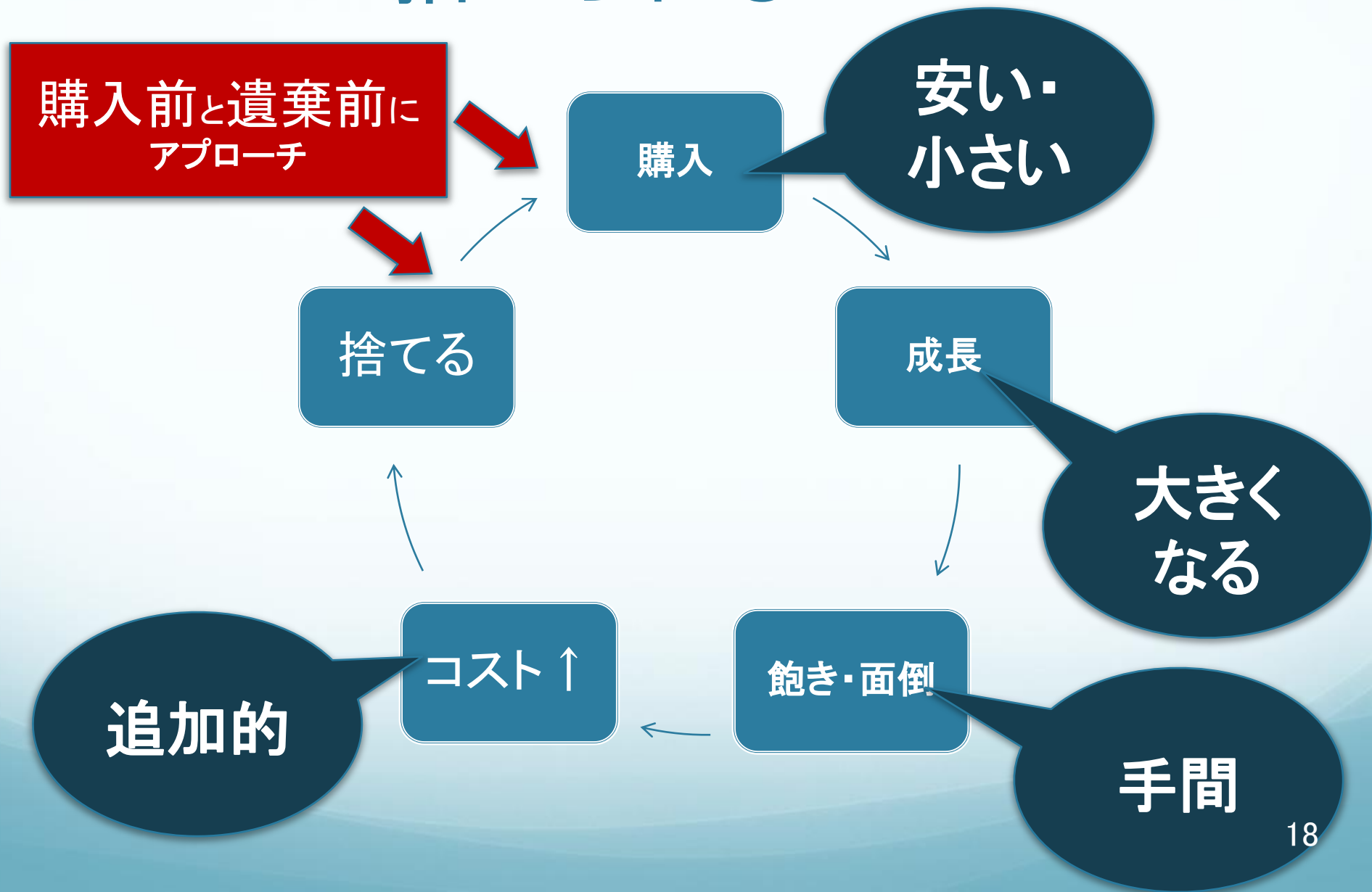
飽き・面倒

- カメ: 十分なケアが必要な動物
- (ペットとしてよく飼育されるギリシャリクガメについて)
「たいていの場合、死ぬのに時間がかかっているだけ」
- By 動物行動学者コンラート・ローレンツ(ノーベル生理学
賞受賞)
- 必要なもの一覧

設備

カメそのものは安いが、買ってからお金・
時間・手間が追加的にかかる

カメが捨てられるメカニズム

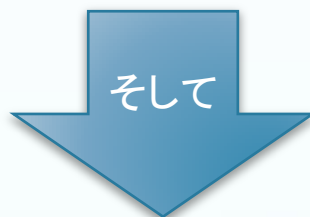


問題意識

- お魚ポストの枠を持続的に確保する制度
- これらカメの飼育に関するコストなどを購入時に知らない

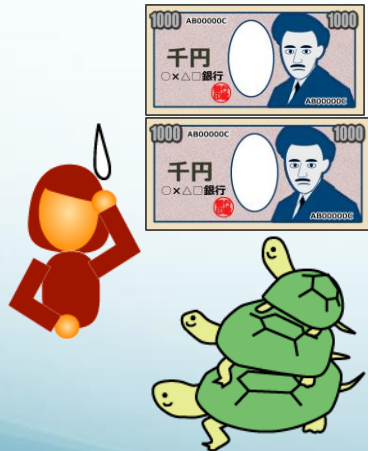
政策提言

おさかなポストに引き取ってもらう際に料金を課す

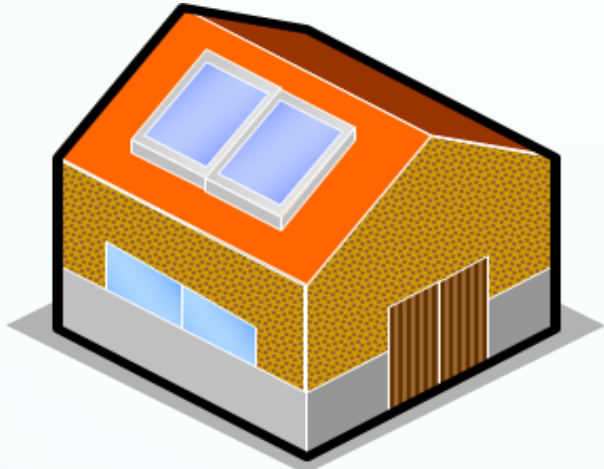


里親になる際にその一部のお金を受け取る

政策提言



政策提言



政策提言

お金をとることは良い手段なんだろうか？

（おさかなポストに預けずにそのまま放流してしまうのではないか……）

→愛着あるカメを放流するのは、道徳的なダメージがあるはず！ 多少の料金をとっても放流せずにおさかなポストに持ってきてくれるはず！



政策提言

～需要側（里親側）の変化～

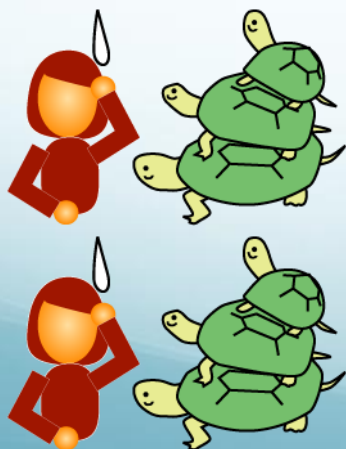
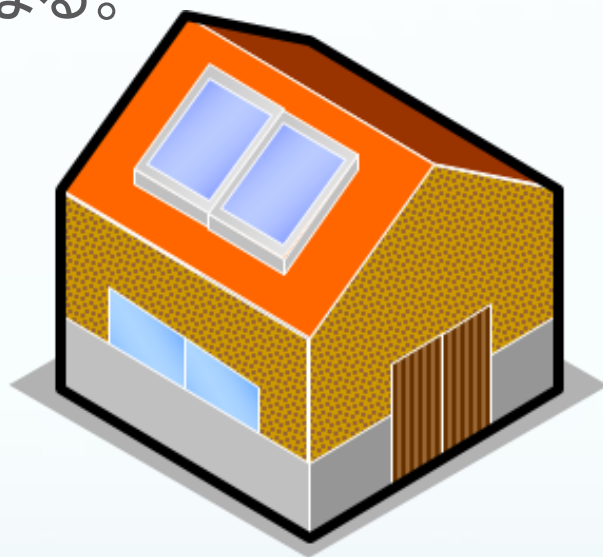
里親に料金を給付することで……

→おさかなポストで引き取った方がお金ももらえるということもあり、市販のカメを購入するよりも、おさかなポストを利用するインセンティブがはたらく！！

カメが預かりきれなくなるほど大量の数になるリスクが減る！

政策提言

料金のシステムを導入することによって、カメの引き取り、引き渡しの流れがよくなる。



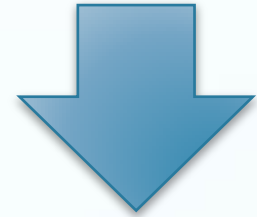
政策提言2

ペットショップ等に張り紙、チラシ等を配布してもらう！

→認知度のアップにつながり、お金はかかるが、逆に今まで放流していた人もおさかなポストを利用する可能性も！

まとめ

政策を施す事で……



料金システムを導入するので、
需要も喚起でき、カメの流れ
がよくなるので、持続性もある。

一部のお金がお魚ポストに
入り、活動費にあてられる

多摩川などの固有の生態
系が減少するリスクが減る

→カメだけではなく、他の需要のある外来種も同様のモデル
を用いることができるかもしれない！

参考文献

- はまれぽ.com

http://hamarepo.com/story.php?story_id=1596

- 多摩川大学 おさかなポスト学部 おさかなポストの会

<http://ameblo.jp/osakanapost/>

- 多摩川 散歩

<http://tamagawa.circlemys.com/seitai-04.html>

- カナコロ

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1305300017/>

- Wikipedia 多摩川

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%9A%E6%91%A9%E5%B7%9D>